



飛鶴の森林から

第63号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り込む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

釧路市子ども遊学館ゴールデンウィークイベント

木のおもちゃであそぼう！ に共催

4月28日～5月6日 「つみっき〜で遊ぼう！」
5月5日・6日 「アイスの棒 de クラフト」

4月28日（土）～5月6日（日）、釧路市子ども遊学館でゴールデンウィークイベント「木のおもちゃであそぼう！」が実施され、多くの木製遊具や木とふれあう工作教室が開かれました。当センターでは、多くの子どもたちに木とふれあってもらうため「つみっき〜で遊ぼう！」（積み木遊び）と「アイスの棒 de クラフト」（木工工作）を共催しました。

「アイスの棒 de クラフト」では、親子連れや友達同士など約80名が参加し

てアイスの棒の木片を貼り合わせて、ミニチュアのテーブルやイス・家・宝箱など、思い思いの工作に挑戦してもらいました。

「つみっき〜で遊ぼう！」は、マッチ箱程度の大きさの木片を利用した積み木遊びです。期間中、子供連れの親子や友達同士が積み木遊びを楽しんでいました。中には「東京スカイツリー」に負けじと自分の背丈を超える高さに積み上げる子供もいました。



秘技ジャンプ積み↑



↑ 「アイスの棒 de クラフト」何ができるかなあ？ ↓



↑ 「つみっき〜で遊ぼう！」期間中の記録



「アイスの棒 de クラフト」自慢の作品展示 ↑

標茶町立中茶安別小中学校 「るんるんフォレスト」始動

森林環境教育

5月15日(火)、標茶町立中茶安別小中学校春の学校林活動「るんるんフォレスト」が行われ、当センター職員と森林管理署真竜森林官が講師として参加しました。今年度最初の学校林活動は、全校児童生徒30人が、小学生二班、中学生班の3班に分かれて「春の学校林」を題材にして、色々な活動を行いました。

初めに、昨年秋に実施した「実のなる木の冬囲い」を外しました。 ↓ 「実のなる木の冬囲い」外し



その後、各班に分かれて活動をおこないました。1班(小学2・3年生)は、「るんるんフォレストの木とおともだちになろう!」をテーマにして、学校林の樹木をよく知ってもらうために「私の木」というネイチャーゲームを行いました。これは、森林の中で目隠しをしたまま1本の木を触り、その感触や大きさなどを覚えて、目隠しを取った後でその木を探し出すゲームです。木には樹種ごとにそれぞれ特徴があることを肌で感じ、また、たくさんの木とふれ合ってお友達になったことと思います。

↑ 「私の木」ネイチャーゲーム(1班) ↓



2班(小学4・5・6年生)は、一昨年伐採したカラマツ人工林の切り株を使って、木の成長の仕組みや年輪の形成を学習しました。また、「自分の生まれた年」「家族の思い出」等の年代を、実際に年輪に印付けを行い、家族の歴史と照らし合わせて、学校林の生長を感じていただきました。



↑ 年輪に印付けを行う児童たち(2班)

3班(中学生)は、若芽を膨らませた学校林を素材にして、極寒の冬をどのように乗り切ってきたのか、早春植物の開花との関係等について予想を立てながら観察を行いました。



↑ 植物の開花について説明を聞く生徒(3班)

今回の活動は、「学校林活動を好きになってもらう」ことをポイントに実施しました。今後、夏・秋の学校林活動に向け、学校と連携して充実した学校林活動に取り組むこととしています。

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター
085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp